

Weekly Report

2023～2024年度

令和5年10月17日(火)
第2125回例会



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブ
の例会は、希望の光を
世界に生み出すこと
に努めています。
皆様のご参加、ご
出席を心待ちに
しております。
令和5年10月17日
大友 大

◆ 会長/親松 裕明 ◆ 幹事/菅 泰博 ◆ 会報/中村 和広

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第2125回例会記録 令和5年10月17日(火) 15/44回

<点鐘> 親松会長

10/31(火) 会員卓話

11/7(火) →地区大会に振り替え

<ソング> 四つのテスト

11/14(火) 会員卓話 理事会

11/21(火) 招聘卓話 地区財団副委員長

<お客様ご紹介> 親松会長
川崎鷺沼RC 小川湧三様、米山奨学生 金多情さん

*近隣クラブ例会変更・案内

川崎高津南RC、川崎中原RC

<会長報告> 親松会長

*11/4(土)、5(日)に社会奉仕委員会主催の昭和音大でのバザーを開催します。お手伝いよろしくお願い致します。

- 2023-24年度インターアクト国内研修の案内
12/25(月)～27(水)訪問予定地:広島県
- 2024-25年度ロータリー財団奨学生募集開始のお知らせ
- 地区大会託児サービスの案内
11/11(土)11:30～18:30 対象年齢:6ヶ月～未就学児
- 2023年第25回麻生区学童軟式野球新人戦大会開会式の案内
10/29(日)8:00～ 片平球場
- 令和5年第2回麻生区総合防災訓練へ参加についての依頼
12/2(土)9:00～12:00
新百合ヶ丘ペDESTリアンデッキ・麻生区役所前広場・麻生市民館

<ニコニコ委員会>

石野委員

川崎鷺沼RC 小川湧三様→「お世話になります」。当クラブより、親松会長→「中島財団委員長、宜しくお願いします」。菅幹事→「インフルエンザが例年より早く流行しております。お気を付け下さい」。小塚会員→「来週の例会には出席できないことを願っています。高校野球関東大会の2回戦！！勝てばセンバツです。応援よろしくお祈りします」。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、福家会員、平岡会員、井上久会員、井上勇会員、伊藤会員、鴨志田会員、菊池会員、北島会員、小島会員、近藤会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、大野会員、大矢会員、左藤会員、関田会員、嶋会員、白井会員、鈴木岳人会員、鈴木孝英会員、鈴木清会員、玉井会員、渡邊会員、山口会員、結城会員、石野会員。

<幹事報告> 菅幹事

*当クラブ例会
10/24(火) 休会 地区大会記念チャリティーゴルフ大会

第2127回 11月10・11日 地区大会

第2128回 11月14日 会員卓話

第2129回 11月21日 招聘卓話 地区財団副委員長

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<出席委員会>

玉井委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2125回	45	36	9		80%
第2124回	45	31	14	3	75.56%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	34件	34,000円	433件	529,000円
財団	0件	0円	11件	216,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	1,000\$
米山	0件	0円	10件	159,000円

本日のプログラム

<財団セミナー報告>

ロータリー財団委員会

中島眞一委員長

9月26日午後3時より、Zoomにて国際ロータリー第2590地区2023-24年度地区ロータリー財団セミナーが開催されましたのでその報告をします。

まず「ロータリー財団の近況」並びに「補助金の配分と財団資金の使われ方」についてです。ロータリー財団は、1917年に当時のRI会長アーチ・クランフさんが「世界でよいことをしよう」という呼びかけで始まり、現在、資産10億ドル以上の世界有数の財団になりました。集めた資金は、地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センタープログラム、災害救援補助金等に使われます。

次に「地区補助金とグローバル補助金」についてです。地区補助金プロジェクトは、地区内外を問わずクラブで実施します。当クラブでは少年野球プロジェクトを実施中です。グローバル補助金は、RIの提唱する7つの重点分野に該当する国際奉仕プロジェクトで、持続可能な事業を対象としています。

財団の「奨学金制度の概要」について説明します。グローバル奨学金と地区奨学金があり、グローバル奨学金は研究分野がロータリーの7つの重点分野のみで奨学期間は1~4年です。地区奨学金の研究分野はその他の学術、芸術分野等で期間は1年です。「学友会の活動」についてですが、学友会とは財団奨学生が帰国して必ず所属する会で、当地区では学友が380名です。活動は、新奨学生のカウンセラー、壮行会、各クラブへの卓話等を行っています。

「ロータリー平和フェロー深谷春奈さんについて」。ロータリー平和フェローシップは、国際平和に貢献する未来の国際的リーダー育成を目的に設置された

RIの奨学金制度です。今年度、当地区の深谷春奈さんが合格し、アメリカのデューク大学平和センターに派遣されました。

「資金管理委員会の役割と財務審査の要点」についてです。資金管理委員会は、R財団に寄付を頂く会員に、その資金がしっかり管理運営され、有益なプロジェクトの完了報告をして理解を頂けるように努力しています。

「ポリオの現状」については発生国は現在パキスタンとアフガニスタンの2か国ですが、根絶にはまだ当分の間、何億人もの人へのワクチン接種が必要とのことでした。

「ポール・ハリスソサエティ」は、毎年ロータリー財団に1,000ドル以上の寄付を継続的に行うロータリアン等に入会頂く団体です。当地区では48名おり、寄付は全体の12%を占めています。

以上が、地区ロータリー財団セミナー報告となります。



<点鐘>

親松会長